

申4号「2020年度冬期対策に関する申し入れ」団体交渉 ②

県南地区3項 乗務員は駅構内の把握、ポイントまでの支障物等について詳しく把握していないこともあるため、事前に情報共有すること。

組合)危険箇所については洗い出ししているのか。

会社)把握した上で対応できる駅を決めた。アンパスや橋梁がある駅は対応させない。

組合)流雪溝等がある駅はないのか。

会社)大曲や横手のような駅にはあるが乗務員が対応する駅ではない。線間を歩くことが一番安全だと考えている。

組合)転動防止手配の際の車両周りの危険箇所も把握されているのか。

会社)乗務員に判断してもらいたい。斜面になっていて転動防止手配が出来ないとなれば対応できないという判断になる。

情報共有については検討している！

県南地区4項 ポイント不転換の初期対応について、ワンマン列車とツーマン列車、他区乗務員と乗務している場合の対応方について考えを明らかにすること。

会社)ワンマン列車は運転士が対応することになる。ツーマン列車について他区乗務員と乗務している場合は横手運輸区の乗務員に対応してもらう。運転士・車掌ともに横手運輸区の場合は、運転士の方が構内をよく見ているので運転士に対応してもらうことが多いと考えている。最終的には輸送指令の指示による。

組合)横手運輸区の乗務員が秋田運輸区の乗務列車に便乗している場合は対応するのか。

会社)対応してもらう。

組合)自列車以外のポイント不転換も対応するのか。

会社)駆け付けに要する時間や不転換を解消しなければ自分も運転再開できないこともあるため、対応してもらうことになる。

組合)職場で聞いた際に「対応しない」と言われた。しっかりと現場と確認してもらいたい。

乗務員の不明な点を解消するよう主張！

県南地区5項 車両搭載道具についてはタブレットの防水ケースも搭載すること。

組合)持ち物が多いことと、タブレットが雪や雨で濡れ故障しないように対応するべき。

会社)持ち出し道具を入れる袋を用意したのでタブレットも一緒に入れてもらいたい。回答に「現在のところ」と付けている。今回は試行ということもあるが対応してみて防水ケースを搭載した方が良いということであれば検討していく。

組合)冬以外であれば油が付着した道具とタブレットを一緒には入れない。

会社)声としては受け止めた。今後の課題として検討したい。

組合)タブレットが故障した場合はどうするのか。

会社)故障時の対応になる。運輸区のある駅で貸し出しするか、貸し出し出来ない場合はそのまま良いとなっている。

今後検討することを確認！その3に続く